



令和6年能登半島地震

緊急災害対策派遣隊

(TEC-FORCE) 現地活動報告

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に伴う被災地の早期復興を支援するため、北陸地方整備局へ派遣していた緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）が3月31日に任務を終え、無事帰還しました。その後、4月18日に隊員2名による、現地での被災状況や支援活動の報告を行いました。

今回派遣されたのは、港湾の高度技術指導班でそれぞれ一ヶ月間現地に滞在しながら港湾施設の復旧工事に向けた設計・積算に関する支援を行いました。

能登半島地震では、地震・津波に

【派遣概要】

- 高度技術指導班（港湾）
 - 第1陣 2月1日（木）～2月29日（木）1名
 - 第2陣 3月1日（金）～3月31日（日）1名
- 派遣先
北陸地方整備局 港湾空港部
- 主な支援内容
 - ・災害査定資料作成
 - ・現地調査の調整
 - ・契約関係書類の作成 等



被災した港の岸壁



現地活動報告の様子

より北陸地方整備局管内の二十九港湾のうち、二十二港湾で被害が発生し、通常のように物資の輸送が行えない状況でした。業務を行う中で、早期復旧を行うためには、施工当時の設計書や維持管理計画書の有無が重要だということを感じました。また、沖縄と派遣先の気候の違いを考慮し、体調管理に気を付けました。

今回の支援の貴重な報告は沖縄総合事務局内で広く共有し、今後の災害対応・復旧活動に活かしていきます。

お問合せ先

開発建設部 防災課

港湾空港防災・危機管理課

098-866-1903
098-866-1906

表1 調査対象・実施区分

調査区分	対象	実施方法	実施期間*
アンケート調査	名護市、本部町、今帰仁村（沿線地域）にお住まいの方	全戸に直接配布により実施	5/31 ～ 7/12
	観光客、地域にお住まいの方	大型商業施設や観光施設での対面アンケートを実施	4/28、 5/3
	道路利用者、観光客	WEBアンケートを実施	4/30～7/12
ヒアリング調査	関係自治体や関係団体、沿線事業者など	訪問などによりインタビュー形式のヒアリング実施	5/7 ～ 7/12
オープンハウス	観光客、地域にお住まいの方	大型商業施設や観光施設にブースを設置し意見聴取を実施	4/28、 5/3

※作業の状況により実施期間が前後する場合があります。



◀アンケートはこちらから
（北部国道事務所 HP
（やんばろードネット））



名護東道路延伸（本部方面）の

計画についてご意見を

お聞かせください

現在、沖縄総合事務局では名護東道路延伸（本部方面）の計画検討を行っています。この道路の計画については、令和3年3月の沖縄ブロック新広域道路交通計画に位置づけられており、令和6年度から概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）に着手しました。

道路計画の検討にあたり、計画づくりの初期段階から地域住民、観光客、道路利用者などの皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見をお聞きし、それを計画に反映していく

取組としてアンケート調査などを実施しています。

今回のアンケート調査では、本部半島地域の現状や道路に関する課題（観光、災害、交通渋滞・事故）などについて、ご意見をお伺いしています。調査結果は、集計とりまとめ後、ホームページなどで公表させていただきます。

○調査期間…令和6年4月28日（日）～7月12日（金）（予定）

○調査対象・実施区分…表1のとおり

お問合せ先

開発建設部 北部国道事務所

0980-52-4350